

2023年度環境経営レポート

(対象期間:2023年8月1日～2024年7月31日)

第 11 版

目 次

	頁
1.環境経営方針	1
2.組織の概要	2
3-1.認証登録の範囲	2
-2.実施体制	3
4.環境経営目標	4～
5.環境経営目標の実績	4～5
6.環境経営計画と取組結果 及びその評価、次年度の取組	6
7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	7
8.代表者による全体評価と見直しの結果	8



有限会社 三双機工

発行日 : 2024年11月5日

改定日 : 2024年12月13日

□ごあいさつ

有限会社三双機工は、1963年に個人商店として創業し43年目になります。お客様のニーズに迅速に対応する為に自社で製品作りをしようと1989年に名古屋市港区に工場を移転しました。

工場立地や働きやすい環境を目指し2009年に名古屋市南区に移転しました。これからも当社の環境経営方針と企業理念をもって、地球環境にやさしい企業で在り続けるように日々努めます。

有限会社 三双機工

代表取締役社長 石川 睦人

1. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

< 環境理念 >

世間のエコに対する関心が高まっている今日、どの企業も環境保全に対する積極的なアプローチが欠かせないと言える。そこで弊社も環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発を目指し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組んでいく。

< 行動指針 >

- ①当社で生産・販売する製品への環境配慮に努めます
- ②環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
- ③電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ④水資源の節水
- ⑤工場周辺の清掃活動の推進
- ⑥使用原料の省資源の推進
- ⑦廃棄物の排出量の削減
- ⑧原材料及び事務用品のグリーン購入

これらについて、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定日：2009年5月1日

改定日：2018年8月1日

有限会社 三双機工

代表取締役社長 石川 睦人

2.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 三双機工
代表取締役社長 石川 睦人

(2) 所在地

愛知県名古屋市南区弥次エ町三丁目71-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	石川 睦人	TEL:052-613-7354
担当者	石川 慶子	TEL:052-613-7354

(4) 事業内容

主要製品:プレス金型 超硬ヘッターダイ 超硬素材

(5) 事業の規模

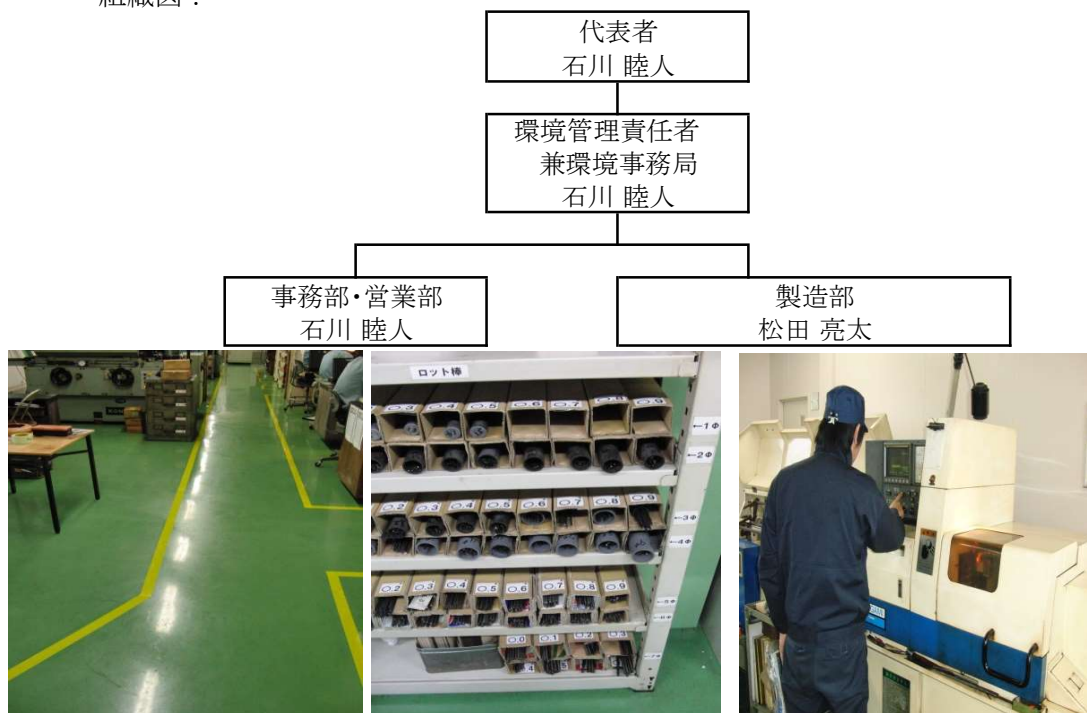
活動規模	単位	2024年	2023年	2022年
従業員	名	10名	10名	10名
延べ床面積	m ²	413m ²	413m ²	413m ²

(6) 事業年度 8月～7月

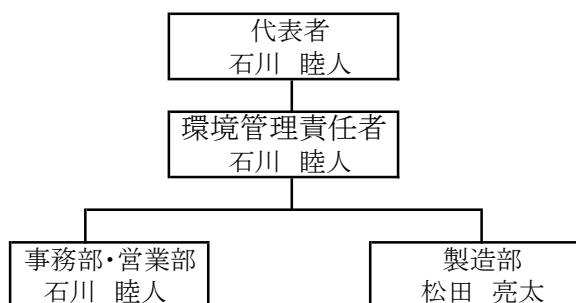
3-1.認証・登録の対象範囲

登録組織: 有限会社 三双機工の全社全組織
活動内容: プレス金型の製造、超硬素材の販売

組織図:



3-2.実施体制



	役割・責任・権限
代表者 石川 睦人	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 兼環境事務局 石川 睦人	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
製造部 松田 亮太 営業部 石川 睦人	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.環境経営目標

環境経営目標は2017年度実績を基準として毎年1%削減を目指します。

尚、購入電力の排出係数は2017年度中電実排出係数0.480kg-CO₂/kWhを用いました。

環境経営目標		2017年実績	2023年目標	2024年目標	2025年目標	2026年目標
項目	単位	2017/8-2018/7	2023/8-2024/7	2024/8-2025/7	2025/8-2026/7	2026/8-2027/7
製品への環境配慮			製品の長寿命化、加工素材・技術の環境配慮に努める。			
	個	20	不良数の低減に努める。			
CO ₂ 総排出量	kg-CO ₂	52,339	-6%	-7%	-8%	-9%
内) 購入電力	//	43,103	-6%	-7%	-8%	-9%
ガソリン	//	9,236	-6%	-7%	-8%	-9%
一般廃棄物排出量	t	0.16	維持管理に努める			
総排水量	m ³	132	節水に努める			
グリーン購入の推進			グリーン購入に配慮する			

5.環境経営目標の実績

本年度の環境経営目標に対する実績は下表の通りであります。（目標○達成×未達△あと少し）

項目	年度 単位	2017年実績	2023目標A	2023実績B	比率	評1	評2	原因分析等
		2017/8-2018/7	2023/8-2024/7	2023/8-2024/7	B/A	1.000	0.967	
製品への環境配慮			配慮に努める	努めた		○	○	
	個	20	不良数の低減	出来た		○	○	13個で維持
CO ₂ 総排出量	kg-CO ₂	52,339	49,199	50,561	1.028	△	△	今期は稼働時間が増えたが2017年よりは増えない様に維持したい
内) 購入電力	//	43,103	40,517	42,581	1.051	△	△	
ガソリン	//	9,236	8,682	7,819	0.901	○	○	削減できている
一般廃棄物排出量	t	0.16	管理する	管理できた		○	○	年間変動範囲内 0.134t
総排水量	m ³	132	節水に努める	努めた		○	○	範囲内 140m ³
グリーン購入の推進			配慮する	配慮できた		○	○	

評1は単純目標比でB/Aが1以下は目標達成○印、その他は△印 減少目標は逆

評2は原単位比でB/Aが0.967以下は目標達成○印、その他は△印

稼働比(2023/2017)は0.911

当社は、超硬ヘッターダイの製造と超硬素材の販売を行っています。

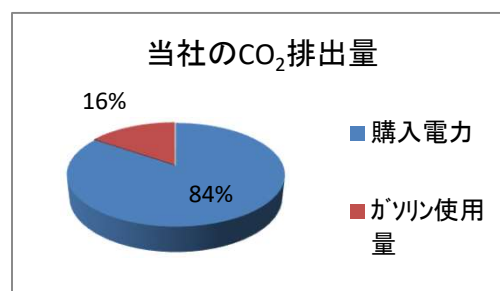
当期は超硬ヘッターダイの売上が少し回復しました。昨年に導入した設備の稼働時間が増えた影響で、目標より電気量が増えましたが昨年よりは減っているので今後も注視したいと思います。

(1) 当社の環境負荷の特長

前述の表でも明らかな様に、購入電力による電力使用によるCO₂排出量が84%

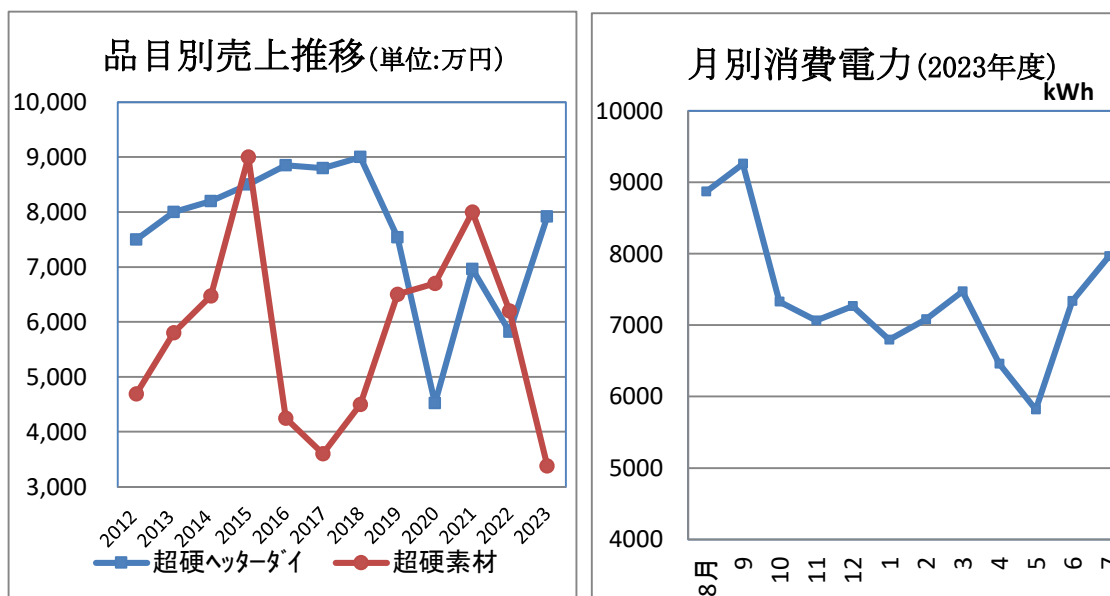
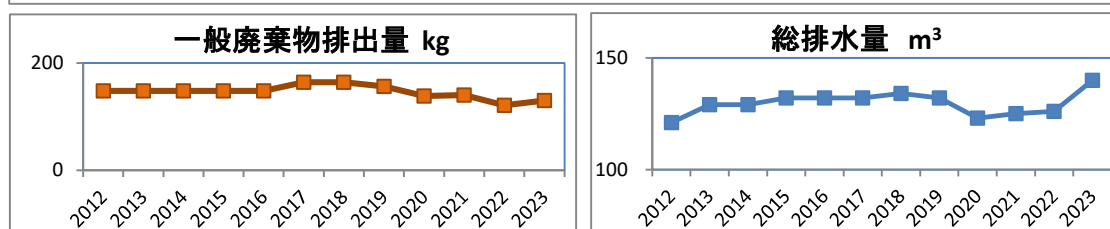
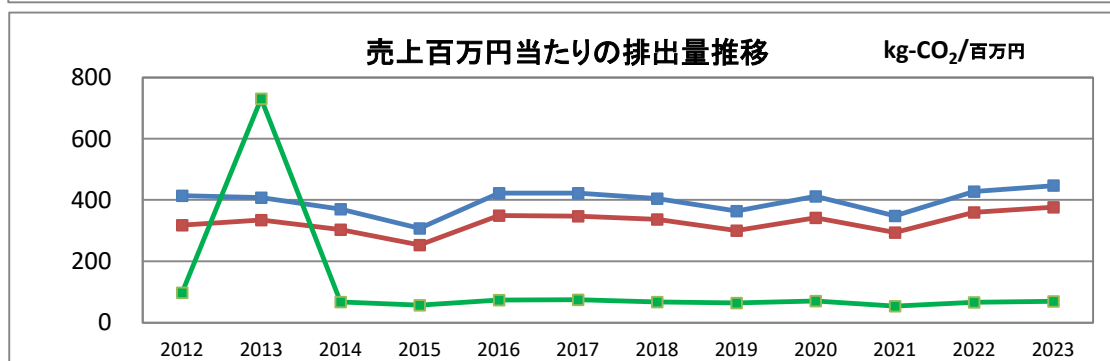
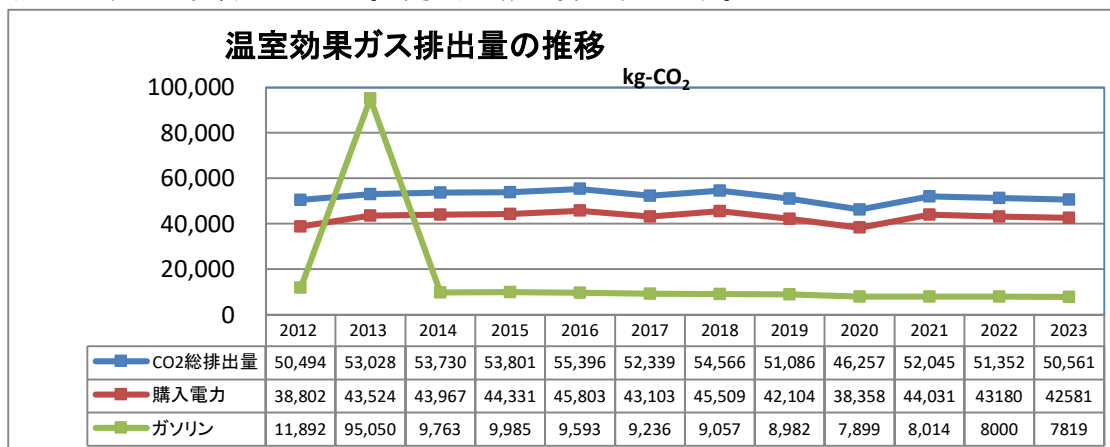
ガソリン使用によるCO₂排出量が16%

購入電力の削減が最も大きな課題となっています。



(2)過去の実績推移

2013年度に導入した大型高速中繰旋盤による購入電力の増加は下図の売上原単位推移では導入前の水準に迄改善できました。今後も削減に努力致します。



今期は、在庫過多の為、超硬素材が減った。
 システムの変更により、超硬ヘッダーダイの受注が増えた。
 前期の導入した設備の稼働時間が増えた。注視したい。
 右図は冷房電力が大きいことを表している。今後節約の工夫を検討したい。

6. 環境経営計画と取組結果及びその評価、次年度の取組評価

2023年度環境経営計画の内容は下表のとおりです。

期初計画、期末結果評価作成 取組責任者：石川睦人

実施期間；2023/8～2024/7

環境経営目標	対象	環境経営計画の内容	期間 '23.8～'24.7	担当者	取組結果	評価	次年度の取組内容	
							取組	新規取組
製品への 環境配慮		工程改善、生産技術の向上	→	全員	・工程改善	○	継続	特殊専門技術の向上
		製品の長寿命化加工素材、加工技術			・改善を重ねて長寿命化を目指す			工程の改善
		不良数の低減に努める			・工程改善等による不良の削減	○	継続	不良数の低減
温室効果ガス 排出量の削減	購入 電力	・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	→	製造 全員	・消灯OK、	○	継続	休止機械電源オフ
		・暖房温度20℃設定とウォームビズ運動			・エアコン	○		新規導入設備
		・昼休みの消灯			・出来た	◎		の操作技術習得
		・不要照明の消灯			・実践できた	◎		断熱材を活用して熱
		・OA機器の省エネモードの設定			・出来た	○		の出入りによるムダを
		・照明灯をLEDに変える			・出来た	○		防止する。
		・デマンドを設置し、電力管理			・実践できた	◎		節電を重点取組とする
	ガ ソ リ ン	・アイドリングストップ	→	営業	・維持継続していきたい	○	継続	今後期待大
		・急加速の抑制			・7月より社有車1台HV車	◎		
		・冷房の控え目使用			に変更、今後に期待	○		
一般廃棄物の 削減	紙 類	・分別ボックスの設置	→	事務	・分別して再利用できて	◎	継続	
		・裏紙使用・両面コピー			いる	◎		
総排水量		・節水に努力する。	→	全員	・社有車洗浄節水実施	○	継続	
		・排水口、排水路の清掃			・手洗い実施	○		
グリーン購入		・グリーン購入に努力する	→	事務	・事務用品、洗剤等	○	継続	
5S活動		・5S活動による在庫の管理化	→		・クリーンな職場維持	○	継続	
		・3定(定位置、定品、定量)の実行			・ムダが少なくなった	○		
PRTR物質 削減		・切削油と潤滑油タフニーカットHS-80	→	全員	・PRTR非該当物質へ変更	○	継続	切削性能の確認
社会貢献		・長寿命による原材料の削減	→	全員	・もう少し徹底したい	○	継続	
防災	訓練	・危険物少量貯蔵庫等安全パトロール	→	全員	・年1回の防災訓練実施	○	継続	
EA21資料作成		・負荷データ、記録、レポート作成遅延なく	→	事務	・毎年11月末迄に全て作成	○	継続	重要課題

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1) 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

2) 違反・訴訟の有無

関係機関からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

2024年11月4日

石川 睦人

法規制等一覧及びチェック表

	法規・条例	法規等の遵守内容	届出先・委託先	備 考	チェック
1.	騒音(振動)規制法 (法6.8.10.11.14条)	1.騒音(振動)規制法における特定施設(法2施行令1条別表1) 2.特定工場において発生する騒音(振動)の規制基準 3.市町村に特定施設の設置・届出・廃止等の届出		非該当(3.7・2.2.Kw) 〃 〃	✓
2.	騒音条例 市民の健康と安全を 確保する環境の 保全に関する条例	名古屋市工業地域指定 昼間(8～19)70dB 朝夕(6～8, 19～22)65dB 夜間(22～6)60dB	特定施設・非該当但し、 自主的に規制値遵守	昭和61.3.24 規制基準	✓
3.	振動条例 名古屋市環境局 「騒音・振動関係届出 ・規制の手引き」	名古屋市工業地域指定 昼間(7～20)70dB 朝夕(6～8, 19～22)65dB 夜間(22～6)60dB	特定施設・非該当但し、 自主的に規制値遵守		✓
3.	産業廃棄物の処理 及び清掃に関する 法律 1.事業者の責務(法3条) 2.事業者はその廃棄物を 自らの処理義務(法3条) 3.産廃の収集運搬、処分 委託基準(施行令6条2) 4.産業廃棄物保管基準 (法12条の2施行規則8条)	排出事業者の責務 ①委託契約書の維持 ・許可証の期限は有効か ・委託単価は明記されているか ・最終処分場の情報が明記されているか ②マニフェスト返送期限の遵守 ・B2/D票 90日以内 ・E票 180日以内 ③廃棄物置場表示 ・掲示板(60cm×60cm以上) ・整理整頓と維持管理 ・収集時の立会と確認 ④産業廃棄物の処理委託先の確認 ・毎年1回実地確認し、記録を維持する	収集運搬業者/処分 業者と締結 担当者/返送期日を 明記する 廃棄物置場に表示 委託先を実地確認する	記録類は、 全て5年間保管 切削屑(有価物)	対象外
4.	PRTR法(法2.6)	移動量届出義務非該当	SDS所持把握	取扱・保管注意	✓
5.	消防法 (法8,9-4, 10, 11, 17)	危険物の管理 消火器の設置	切削油、潤滑油 作動油、洗剤油	置き場の整理 消火器位置表示	✓
6.	自動車リサイクル法	使用済み自動車の引渡	廃車時に専門業者 へ委託	実施状況チェック	✓
7.	家電リサイクル法	使用済み家電の引渡 (テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機・乾燥機)		実施状況チェック	✓
8.	フロン排出抑制法	廃棄時のフロンの適切な措置 (第一種特定製品) 簡易点検	2.法規制一覧兼チェック 表(兼記録)	実施状況チェック	✓

その他・・・名古屋市当局よりの連絡事項、注意事項等まとめてファイル保存すること
環境法規制変更情報は名古屋市のホームページ等を参照すること。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.見直しに関連する取組状況について

2024/11/4

環境管理責任者 石川睦人

No	項 目	評価・コメント等
1	エコアクション21文書、記録等	本年度の【記録・文書】として作成しました。
2	環境経営目標及び目標達成状況	前期に機械を導入し稼働時間が増えたが予測よりは電気量は抑えれた。 購入電力増加を極力抑えています。
3	環境経営計画及び取組実施状況	レポートに記載の通りです。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守事項	レポートに記載の通りチェックし、問題はありません。
5	外部コミュニケーション・対応記録	特にありませんでした。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	不良数の低減に努めています。
7	取引先、業界、関係行政機関。その他	特にありませんでした。
8	前回現地審査時の指摘事項への対応	環境関連法規、次年度取組について対応済。

2.代表による全体評価及び見直し結果と指示について

全体評価について

- ・前期に機械を導入したのと稼働時間が増えたので全体の電気使用量が増える予測でしたが、前期より電気量は削減出来た。
- ・次年度も使用していない機械の電源offや照明offをこまめに取り組むように徹底したい。
- ・不良数の低減を心掛けます。

2024/11/4

取締役社長 石川睦人

No	見直し項目	変更必要	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・無	
2	環境経営目標	有・無	
3	環境経営計画・取組項目	有・無	
4	実施体制	有・無	
5	その他のシステム要素	有・無	
6	その他(外部への対応))	有・無	



温室効果ガスの削減

・デマンド管理



・照明のオンオフの管理